

球根類 開花期7~10月
カンナ(カンナ科)



例会日：水曜日
第1・第2 夜間・18:30~
第3・第4・第5 昼間・12:30~
例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23
サイバーリンクス N-4ビル 2階
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長：辻本圭三 幹事：土屋一博
クラブ会報委員長：籠田 弘 副委員長：和田 薫

本日の例会
9月22日(水)
12:30~華月殿

ロータリーリンク：奉仕の理想
行事：クラブフォーラム
40周年記念事業委員会

次回の例会
9月29日(水)
12:30~華月殿

行事：外部卓話
第2640地区 青少年・ライラ委員長
丸山信仁様

先週例会報告

ゲスト：国際食料理研究家 田中愛子様、藤原恵様

会場監督 鯨 拓也

会長挨拶

辻本圭三 会長



本日、外部卓話として国際食料理研究家の田中愛子先生と藤原恵先生をお迎えしています。先生方には、よろしくお願いいたします。

次に、我々のクラブには、ゴルフ、麻雀、カラオケ、ハイキング、パソコンの各同好会があります。これら同好会は活発な活動をしておられますが、同好会の活動が活発になればなるほど、クラブが活性化していると思っております。

そこで、同好会が活発に活動していただくために、クラブとしても金銭的な面での協力ができないだろうか、常々考えてきました。そして、個人的にいろいろと検討し、また、何人かの会員にも意見を伺ったのですが、会員の全員が加入して要るのであれば別として、そうでない以上はクラブの一般会費を使うことは出来ないとのご意見も伺っています。しかし、どうしても納得の出来ない部分がありましたので、ガバナーの公式訪問の際、同好会に一般会費より資金援助できないかと質問したところ、別に制約はないから理事会決定さえあれば可能と思われるとのことであり、また現に、親睦委員会の予算より資金を援助しているクラブもあるとご教示頂きました。今後、会長エレクトとも、相談しながら方向付けをしていくこととなりますが、クラブの活性化に繋がることですので、前向きに考えたいと思っています。

ニコニコ箱

和田達男会計

辻本君・田中先生、本日の卓話よろしくお願い申し上げます。
竹中君・前田会員、全国整形外科の先生が紀三井寺参拝にあたり大変お世話になります。よろしくお願いいたします。感謝いたします。
堀君・竹中様、先日は会員がお世話になりました。
和田(達)君・辻本会長、先日はお世話になりました。

幹事報告

土屋一博 幹事



- IM3組が10月2日(土)に開催されます。ご参加よろしくお願いいたします。
- 1万人大清掃が11月14日(日)に行われます。城北公園に午前8:20集合です。ご参加よろしくお願いいたします。
- 本日定例理事会がございます。役員・理事の方はお残り下さい。

＜地区大会のご案内＞

11月7日(日) 本会議 10:00~17:00、受付 9:00
国際障害者交流センター ビッグアイ (堺市南区)
「大揮毫」 SHO 家 吉川壽一様(福井フェニックス RC)
「歴史に学ぶ日本のこころ」
世界遺産・薬師寺 管主 山田法胤様(奈良 RC)
会員皆様のご参加、よろしくお願い申し上げます。

＜ライラセミナーのご案内＞

- 3月5日(土)、6日(日) 高野山 恵光院
参加資格：14~30歳迄の青年男女及びロータリー。
皆様のご参加、よろしくお願い申し上げます。
- 11月7日(日)ビッグアイ(地区大会2日目会場)
には14歳~30歳迄の青年男女の方の出席をお願い致します。ロータリアンは地区大会に出席をお願いいたします。

40周年記念 BOX

和田達男会計

辻本君・40周年委員会の皆様、ご苦労さまです。
竹中君・堀会員、先日はお世話になり有難うございます。
松浦君・辻本会長、お世話になりありがとうございます。
南君・田中愛子先生、本日は遠路お越し下さり有難うございます。卓話の方よろしくお願いいたします。
堀君・40周年楽しみにしています。



	ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	40周年記念 BOX
累計	611,000	10,000	47,000	13,000	288,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名 9/15	30名 62.50%
出席免除会員	3名 9/1	45名 91.84%



この度は、このような卓話の機会を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

私は次世代の子供達が健やかな地球環境、そして暮らし、それに繋がる食と豊かな精神性を受け継ぐために昨年4月、日本コンフォートフード・アンド・リビング協会（現、ハーブガーデン協会）を立ち上げました。おかげさまで現在30校を超える保育園、幼稚園、小学校、養護学校などで食育活動を実施しています。この運動に賛同して頂ける皆様からの寄付金でハーブを実施校に植えにゆき、子供達、父兄の方々、先生方とともに植えながら、土の恵み、宇宙の循環を学び、そして育て方と育つよろこびを味わいます。「植える」「育てる」「収穫する」「料理する」「感謝してみんなで楽しむ」の5段階を実践し、私達はあくまでも

教育者ではなく、相手の立場に思いを馳せる添え木としてボランティア活動のプログラムを実施しています。土を耕し、収穫し、採れたものを料理し、食卓に並べ、共に味わい、残ったものは再び堆肥として土へ還すのです。これらはまさに生命をなす生活の営みそのものです。このような一連のプログラムを通じて、環境のことや栄養を学び、健康的な生活を送る術を自然と身につけます。そしてこのような学びが持続可能な型となるように、この活動を継続する方々の養成も一つの試みです。そしてその方々が、食を愛するライフスタイルを体現し、食に対する敬意と感謝を身をもって示すことを学び、そして実施校の生徒の先生、父兄の方々と食育を通してともに歩むコミュニティを作るのです。

池田市立石橋南小学校、大阪樟蔭女子大学附属幼稚園、聖母被昇天小学校、聖母被昇天幼稚園、千里ひじり幼稚園など、モデル校としてこの活動に参画を申し出てくださり、「食育エディブルキッチンガーデン」の設置を決定してくださいました。石橋南小学校では、その予算を獲得するためにローソンの緑基金に応募し、その基金を基本に、市村からの緑化事業基金のお助けもあり、昔、校庭の隅に草まみれになっていた、シンメトリーのハーブガーデンが浮かび上がりました。お母さん達がバザーをして子供達一人一人に苗が植えられるようにお金を作りました。そして園芸部も出来て、持続可能なハーブガーデンを目指すことになりました。そのまわりには「食べられる木」レモン、オレンジ、キウイ、みかんの木が植えられ、その地域の商店街のパン屋さんには、フルーツが実ればジャムを作って石橋南小学校特製パンを作りたいと輪が広がりました。3月26日、まだ肌寒い春の日、ハーブガーデンはオープンしました。私は感動しました。思いは届くもの、願いは広がるもの。共に考え、動き、感じる、響働することは相手の立場を思うことから始まります。地球の資源に限りがあり、子供達に幸せな未来を手渡したいという願いが、人の心をつなぎ、思いやりを生み、見えない国の人々の暮らしや遠い地球の未来で思いは繋がります。このように「相手の立場」を考えるとということだと、すなわち「私の立場」に置きかえることが出来るかどうかということだと、私は思うのです。

21世紀、このような様々な問題が地球のあちこちに起きています。しかし、それは地球のどこかではなく自分の住んでいるこの町にも起こっているという現実を知ることからでしょうか。日本の季節の旬菜や、私達の祖先が培ってきた家庭のあたたかな料理、技法を大切に作る心、そして同じように違う文化の人々の立場にも心を馳せて、一人一人が自分の新しい人生の価値観で豊かに歩みたいと願うのです。

○ 9月6日(月) 和歌県知事 15:00～・和歌山市長表敬訪問 12:30～

米田ガバナー・岡田副代表幹事・松田ガバナー補佐・市内10RC 会長・幹事

